

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	農業振興課
課名	農業振興課

予算	款	項	目	決算書	
	6	1	6	148	頁

目名
園芸振興費

事務事業名称
園芸振興事業

1. 概要

目的	本市の産地収益力の向上を図るためには、産地化及びブランド化を推進する必要がある。これに係る必要かつ有効な事業として実施する。	対象	農業者
事業概要	<p>○園芸産地整備事業…園芸産地づくりを推進するための栽培施設、生産基盤、機械施設等の整備に対する補助金 [対象:認定就農者・認定農業者・営農集団等] [事業費:186,583千円(県1/3 市1/6)]</p> <p>・ブランドを育む園芸産地育成支援事業…大規模リース団地に入植する新規就農者に対する固定資産税の負担軽減措置 [対象:大規模リース団地入植者] [事業費:8,670千円(県1/3 市1/3)]</p> <p>○小規模園芸推進事業…地産地消対策の取組として高齢者農業を推進するためのハウス導入補助金 [対象:道の駅等の直売所の出荷生産者外] [事業費:5,000千円(市1/2)]</p> <p>○野菜価格安定対策事業…野菜生産者の経営安定の確保に資するための基金協会への負担金 [対象:ピーマン・夏秋なす・さといも・かんしょ・アスパラ・白ねぎ・小ねぎ・みつば・カボス]等</p> <p>○施設園芸償還金負担軽減対策事業…平成10年度に実施した園芸振興対策事業に係る償還金補助 [平成23年度償還金:764千円] [対象:大野郡花き生産部会・おおいたべっぴんねぎ出荷協議会]</p> <p>○大分の茶産地強化対策事業…豊後大野市茶の産地維持拡大を図るため、高品質茶である「かぶせ茶」の生産技術対策に対する補助金 [対象:認定農業者・営農集団] [事業費:2,547千円]</p> <p>○団体負担金…大分県カボス振興協議会(451千円)、豊肥地区フライト農産物集出荷促進協議会(120千円)、竹田市カボス流通対策協議会(160千円)、大分県園芸技術者協議会(5千円)、農作物病害虫防除協議会(80千円)(H24廃止)</p> <p>○団体補助金…JAおおいたぶんご大野生産部会(1,660千円)、葉たばこ生産協議会(873千円)</p> <p>○園芸振興事務費…園芸振興事業に係る事務経費</p> <p>○戦略品目産地化プロジェクト支援事業…戦略品目の産地化及びブランド化を早期に確立するため取り組む事業に対する補助金 [対象:生産部会] [事業費:2,702千円]</p>		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)	予算現額(千円)	決算額(千円)	財源内訳				評価	
					国・県支出金	市債	その他	一般		
臨時	園芸産地整備事業	ピーマンハウス施設整備等	負担金補助及び交付金	101,143	94,253	60,902			33,351	3
臨時	小規模園芸推進事業	ハウス施設(3a未満)購入補助	負担金補助及び交付金	3,000	2,498				2,498	2
経常	野菜価格安定対策事業	12品目	負担金補助及び交付金	1,471	1,470				1,470	3
臨時	施設園芸償還金負担軽減対策事業	2団体	負担金補助及び交付金	758	757	757			0	1
臨時	大分茶産地強化対策事業	かぶせ茶生産被覆資材	負担金補助及び交付金	1,274	1,274	848			426	3
経常	団体負担金	5団体	負担金補助及び交付金	879	816				816	3
経常	団体補助金	2団体	負担金補助及び交付金	2,533	2,533				2,533	2
経常	園芸振興事務費	園芸振興に係る事務費	需用費	531	333				333	3
新規										
臨時	戦略品目産地化プロジェクト支援事業	ピーマン、かんしょ	負担金補助及び交付金	1,849	1,476				1,476	3
計				113,438	105,410	62,507	0	0	42,903	

2. 指標設定

成果指標	指標名	年間農業園芸生産額	目標年度	H27	指標の設定理由				
	数値	29.4億円			園芸振興アクションプランに掲げた戦略4品目、重点6品目を中心とした振興目標				
活動指標	指標	a	夏秋ピーマン	b	白ねぎ	c	かんしょ	d	さといも
	数値	目標	6.6億円	目標	2.3億円	目標	3.5億円	目標	1.4億円

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
年間農業園芸生産額	億円	-	-	-

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 夏秋ピーマン	億円	2.9 億円	3.9 億円	4.1 億円
		43.9 %	59.1 %	62.1 %
b 白ねぎ	億円	0.4 億円	0.5 億円	0.7 億円
		17.4 %	21.7 %	30.4 %
c かんしょ	億円	0.3 億円	0.4 億円	1.1 億円
		8.6 %	11.4 %	31.4 %
d さといも	億円	0.3 億円	0.3 億円	0.3 億円
		21.4 %	21.4 %	21.4 %

4. 課題と対応

課題
園芸振興アクションプランに掲げた戦略・重点品目に係る産地化及びブランド化を早期に図る。
対応（改善点等）
戦略品目について、関係機関によるプロジェクトチームを結成し推進を図る。また、市単独事業として戦略品目産地化プロジェクト支援事業を実施。

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

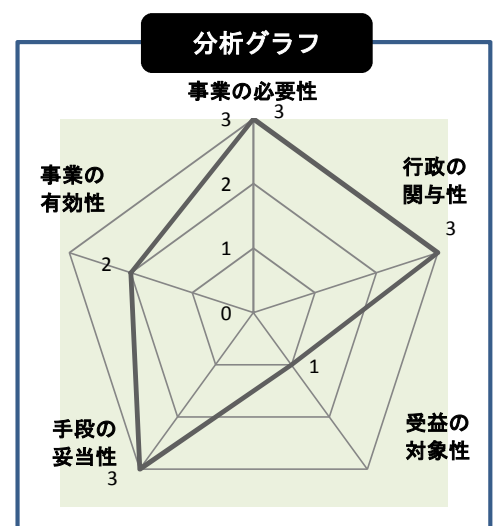
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		44,248	400,486	105,410	42,417
うち経常経費		13,086	5,997	5,152	5,417
財源内訳	国費				
	県費	22,132	332,942	62,507	18,035
	市債				
	その他				
	一般財源	22,116	67,544	42,903	24,382
うち経常		13,086	5,997	5,152	5,417
事業費に係る人件費		4,352	6,219	5,160	7,729

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
予算は前年度並みであるが、総体的には県単補助事業並びに市単独事業を有効かつ効果的に実施することにより目標達成を早期に図る

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 産地振興を図り農業生産額を上げるためには必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 第2次農業振興計画を実行するためには、行政が主体となり関係機関と連携を取り進める必要がある。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 農協及び生産者部会組織等と十分な連携を取っている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 戦略品目産地化プロジェクト推進計画に基づき、品目別に指標を設定。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 戦略品目について着実に成果が上がっている。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	農業振興計画に基づく計画達成に努めること。